

◎ちょっと生デ、みてみりん。(9月 文化祭の様子)

9月11日(金)、「令和8年度南高祭」が開催されました。あいにくの曇り空に小雨も混じる天候でしたが、そんな空模様を吹き飛ばすかのように、校内は朝から生徒たちの熱気に包まれていました。各学年・各クラスが趣向を凝らした企画を用意し、来場した方々を温かく迎えました。今回は、そんな文化祭の中から、生活デザイン科の各学年の取り組みの様子をご紹介します。

1年生

1年生は、他の普通科のクラスと同じように、クラス全体で協力して企画を行いました。占いの館「Madam Kiyō」を実施し、教室には占いブース・おみくじブース・写真スポットなど、来場者が楽しめる仕掛けをたくさん用意しました。装飾にも工夫を凝らし、教室全体を非日常的な雰囲気でご包み込みました。バラエティ豊かな内容で来場者を飽きさせない工夫が光り、特に占いブースは大人気で、行列が廊下にまで伸びるほどの盛況ぶりとなりました。企画・準備の段階から生徒たちが力を合わせて取り組んだ成果もあり、当日は多くの生徒・保護者が訪れ、笑顔があふれる一日となりました。



2年生

2年生は、フードデザインコースを選択している生徒が中心となり、「喫茶メモリー」と題して焼き菓子の販売を行いました。多くの種類の焼き菓子が並び、大盛況となりました。レシピや材料の割合は生徒自身が考案し、何度も試作を重ねながら味と食感を追求しました。見た目にもこだわり、ラッピングまで一つひとつ丁寧に仕上げるなど、細部まで手を抜かない姿勢が随所に見られました。販売の場となった2-1の教室は内装にも力を入れ、カラフルで華やかな装飾を随所に施し、賑やかで心弾むようなイートインスペースを設置しました。イートインのお客さんには飲み物のサービスも行うなど、細やかなおもてなしが好評で、店内は開店から閉店まで終始賑わいを見せていました。



3年生

3年生は、「배고파요食堂」と題したレストラン形式の企画に挑戦しました。フードデザインコース選択者が本格的な韓国料理を手がけ、注文が入ってから一品ずつ丁寧に調理して提供するという、まさに本物のレストランさながらのスタイルで来場者をもてなしました。前日からの仕込みに加え、当日も早朝から準備を重ねた生徒たちの頑張りもあり、安定した品質の料理を多くの人に提供することができました。役割分担もしっかりしており、調理・提供・接客がスムーズに連携する様子からは、これまでの練習の成果がうかがえました。特に昼時には多くの方が訪れ、行列ができるほどの盛況ぶりを見せていました。

※배고파요は、韓国語で「お腹がすいた」、の意味。

